2026年
熊本地震
宇土市役所
支援

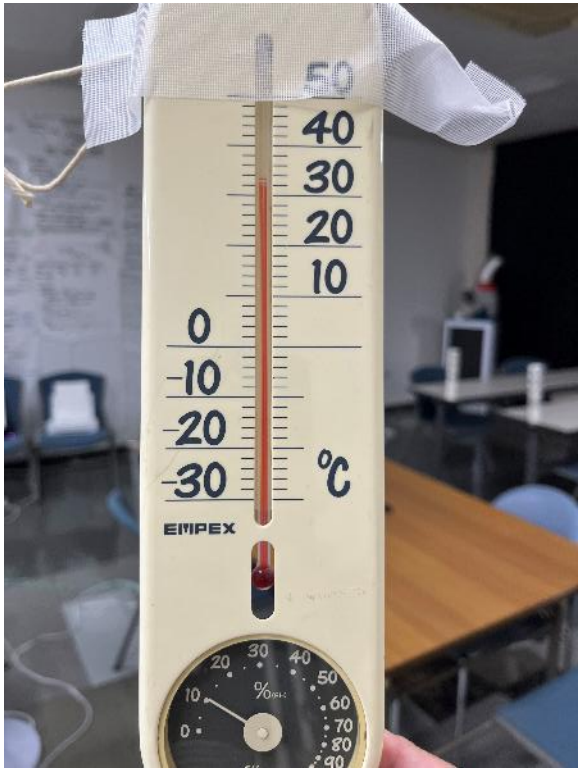


8月3～9日
DMATコーディネーターチームとして出動

8月3日　熊本県央南活動拠点本部（熊本済生会病院内）

8月4日　宇城保健医療福祉調整本部
（冷房が壊れている）





宇土市
面積:75km²
人口:3万5000人



宇城市
面積:188km²
人口:5万4000人

美里町
面積:144km²
人口:8000人

宇土地区医師会　　下益城郡医師会

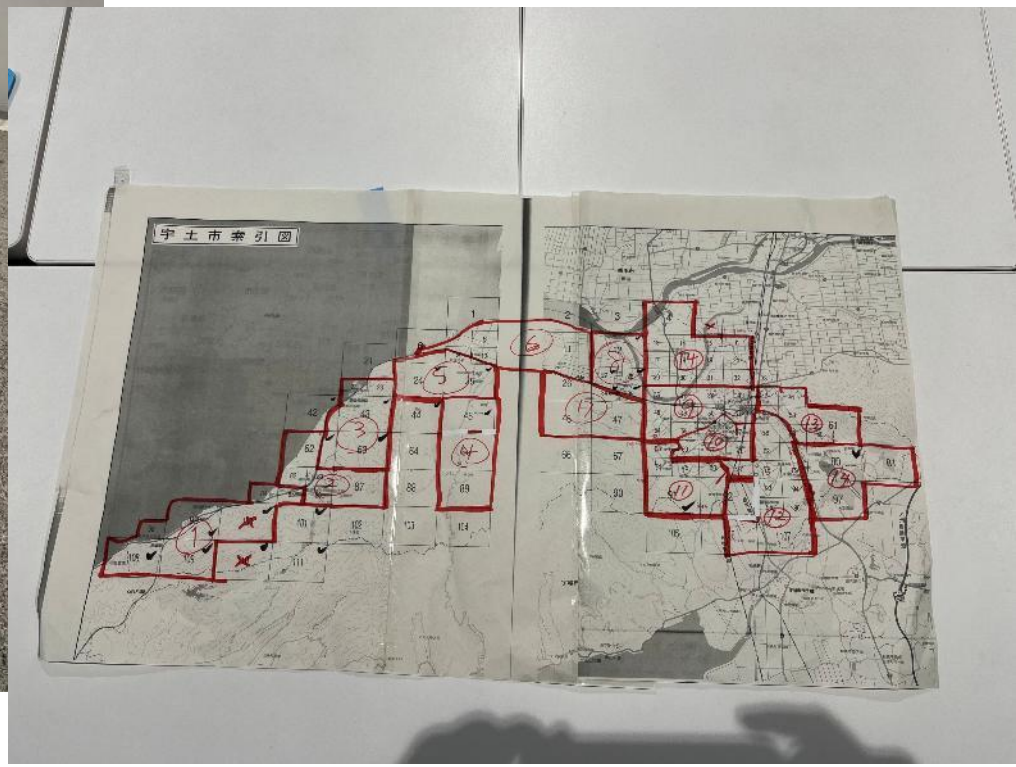
➡宇土市保健師さんサポートへ



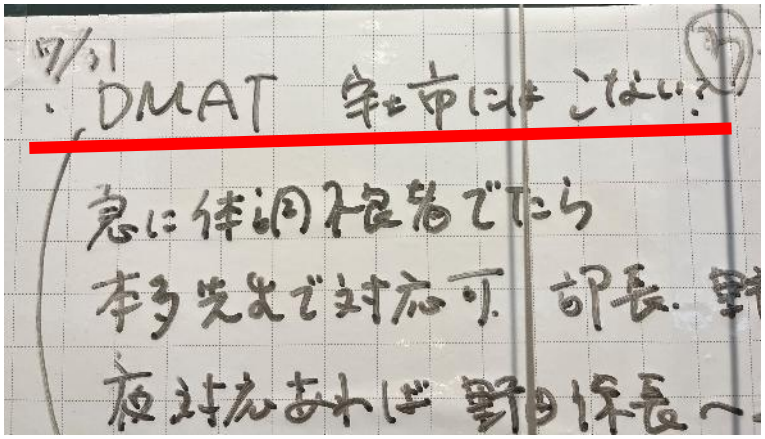


- 8月5、6、7日　ピックアップした全戸訪問支援(315戸)
- 応援保健師さんが避難所巡回
  ➡診察希望あり、避難所へ(徒歩1分)

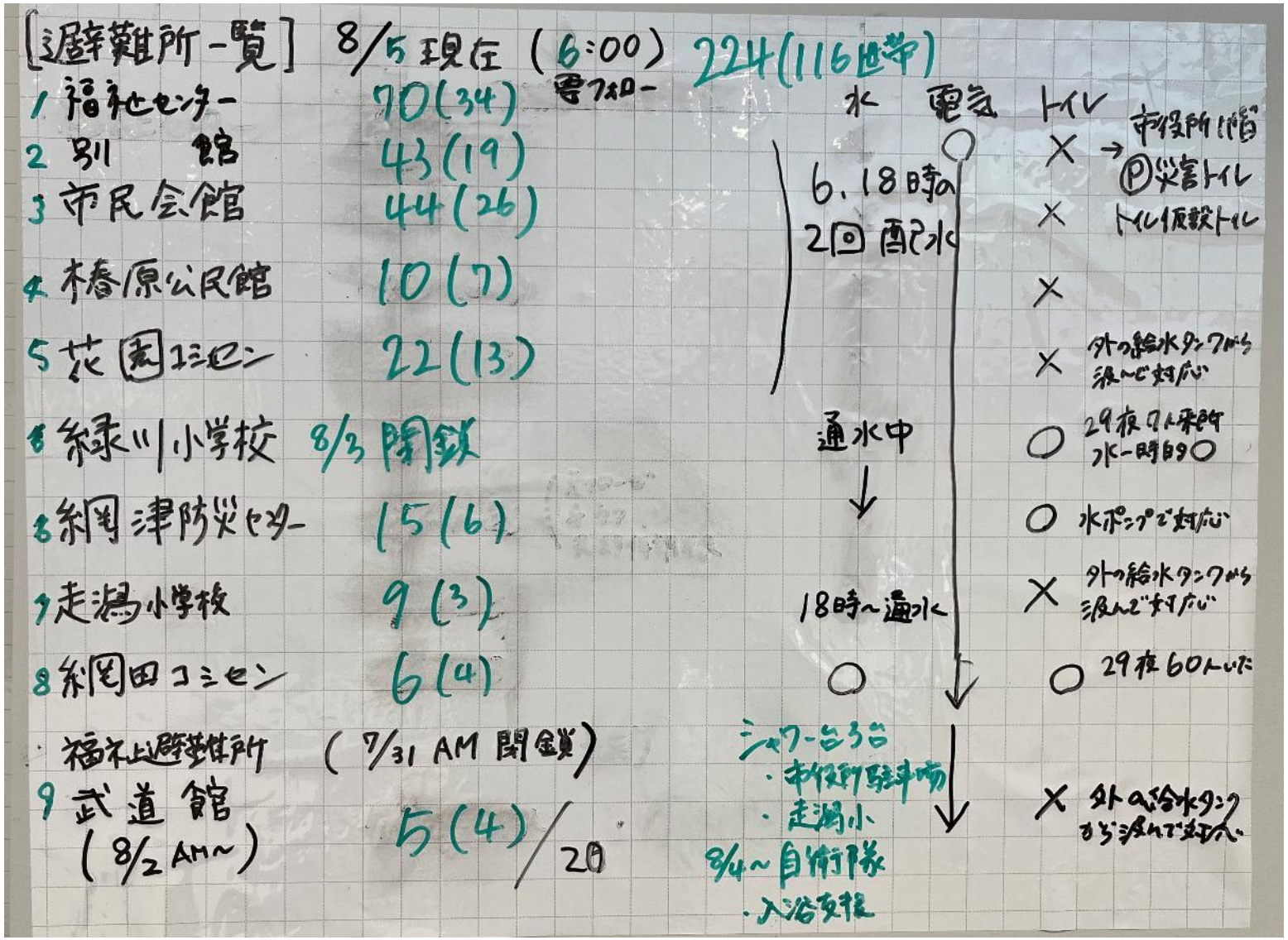




全戸数から
介護保険と生活保護が
介入している
戸数を引いた数＝315戸



３日間、DMAT隊のべ4隊で活動


[避難所一覧] 8/5現在 (6:00) 224(116世帯)
1 福祉センター 70(34)
2 別館 43(19)
3 市民会館 44(26)
4 木春原公民館 10(7)
5 花園コミセン 22(13)
6 緑川小学校 8/3 閉鎖
7 網津防災センター 15(6)
7 走潟小学校 9(3)
8 網田コミセン 6(4)
福祉避難所 (7/31 AM 閉鎖)
9 武道館 (8/2 AM~) 5(4)/20
零フォロー
水 電気 トイレ
6、18時の
2回 配水
通水中
18時~通水
シャワー台3台
・市役所駐車場
・走潟小
8/4~自衛隊
・入浴支援
× → 市役所1階 Ⓟ災害トイレ
× トイレ仮設トイレ
×
× 外の給水タンクから汲んで対応
○ 29夜9人来訪 水一時的○
○ 水ポンプで対応
× 外の給水タンクから汲んで対応
○ 29夜60人いた
× 外の給水タンクから汲んで対応

8月5日（発災9日目）
まだまだ避難所の環境は劣悪（9か所　224人）
集約の方向、環境を良くする必要はない
支援情報も届きにくい
食事もずっとパン（食中毒が心配で）
少しづつ水も出始めて、クリニックなども再開し始めた
訪問看護やリハビリ、デイサービスはまだまだ
市は通常業務を再開　罹災証明の受付も開始
市の保健師さんたちは休みなく働いている
施設は市管轄は把握しているが、県の管轄については不明



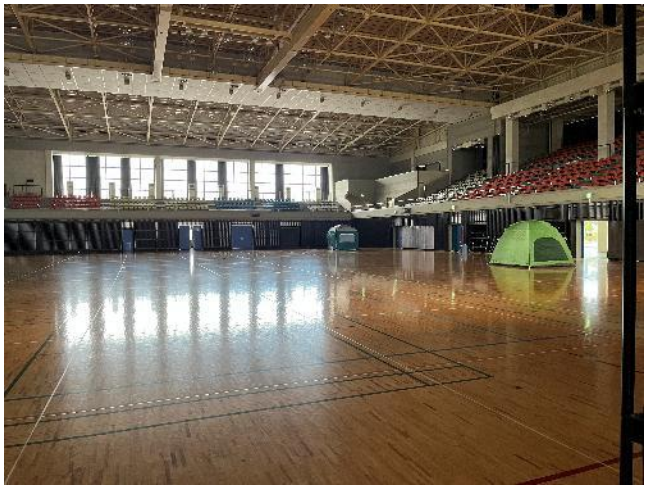
8月6日
段ボールベッド入れようという動きに
市も、職員に休むように言い始めた　お盆休みは難しそう
炊き出しも来た（食中毒を心配）
避難所でコロナ1名発生　市長にアドバイス　DICTも来るらしい
避難所でWOTA　98歳介助がいる人が使えていない
93歳、腎瘻ある人が発熱した（よくあるらしい？！）
宇土市には日赤、JRAT、DWAT入らない？
集約する避難所のデザインについてアドバイス
保健師さんのクロノロを電子化





8月7日
武道館避難所での市保健師の当直業務をなくしたい
段ボールベッド入りだした
（床から起き上がれない高齢者が、助かったと言う）
口腔ケアチーム来ていたらしいが、報告なし

8月8日
15時から集約する避難所についてMeeting
（市役所、保健所、医師会、日赤、DWAT、PWJ、DMAT）
DiaMAT来た・・・
市として、すまい再建室設置
災害ごみ対応も





8月9日



アリーナという名の体育館に下見
JRATが手すりを設置してくれている
DWAT、PWJも来てくれた
日赤が介助してWOTA使ってくれている
（98歳女性　発災後13日目に初シャワー）
本多先生（宇土地区医師会）がHondaのバイクでやってきた。





（DHEAT、宇土市保健師、宇城保健所、日赤、DMAT）

したこと
宇土市保健師支援
避難所支援
支援者支援
医師会支援
多職種連携

できなかったこと
福祉施設支援
早期支援介入
多職種連携



（小豆島酒造　うとうと　純米）

被災地域支援



(https://dmat.jihs.go.jp/)